

### 建築士法23条の6の規定による設計等の業務に関する報告書

建築士法第23条6の規定により、下記の事業年度の報告書を提出します。  
この報告書の記載事項は事実と相違ありません。

事業者ごとに定められている **事業年度(税務会計年度)**の **開始月～終了月**の年月日です。  
※個人開設の場合は **確定申告**と同じ1月1日～12月31日となります。

事業年度の **開始月の属する年号**

記

報告事業年度 令和6年度分  
(西暦表記) ( )年度分

始期～終期 令和6年10月1日～令和7年9月30日  
(西暦表記) ( )年( )月( )日

西暦表記は必須ではありません。  
第二面以降で西暦を使用する場合は記入してください。

報告日(メール送信、報告郵送日)を記載します。  
※受理日は、メール着信、報告書到着日となります。

令和7年11月15日

埼玉県知事 様

事務所の **登録番号**は、**正確に!!**  
※**建築士免許証の登録番号とは異なります。**

報告者:

一級・二級・木造  
が分かるように  
○をつけます。

(一級 二級 木造) 建築士事務所 埼玉県知事登録 ( 2 ) 第 1234 号

事務所名 (株)彩玉建設 一級建築士事務所

所在地 さいたま市 浦和区 高砂 ○-○○-○

電話番号 048-830-○○○○

FAX番号 048-830-△△△△

[法人開設]

法人名 (株)彩玉建設  
代表者氏名 代表取締役 彩玉 太郎

法人開設は  
こちらに記載

[個人開設]

開設者氏名

個人開設は  
こちらに記載

事務所の登録番号は  
正確に！！

### 建築士事務所の業務の実績

【記入必須】 埼玉県知事登録 ( 2 ) 第 1234 号

[記入注意]  
当該事業年度における直近のものから順次記入してください  
[記入例]

当該事業年度中に**完了した業務**について、業務終了日を基準に直近のものから記載します。  
※**継続中の業務**に関しては、**業務が完了した事業年度の実績**として報告します。

建築物所在地 都道府県名	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期 間
埼玉県	共同住宅	鉄筋コンクリート造 3階建延500㎡		~2024.1.10
埼玉県	店舗併用 住宅	木造 3階建 235㎡	設計・工事監理	R6.4.15 ~ <b>R7.9.14</b>
東京都	共同住宅	鉄筋コンクリート造 地上6階 地下1階 延 8,000㎡	設計・工事監理	R6.10.1 ~ <b>R7.7.10</b>
埼玉県	病 院	鉄骨造 4階建 延 580㎡	増築設計 工事監理	R5.6.21 ~ <b>R7.6.30</b>
埼玉県	中学校	鉄筋コンクリート造 4階建 延 12,000㎡	耐震調査 補強設計	R6.12.20 ~ <b>R7.4.30</b>

構造は主要部の構造を、  
増改築は当該面積を  
表記します。

増築・改築等が分か  
るように記載します。

報告事業年度内に、該当する業務実績がない場合には、  
「建築物所在地都道府県」欄に「業務実績なし」と記載します。

- \* \* \* 記載すべき業務範囲 \* \* \*
- ★建築物の設計・工事監理・その他業務（構造設計のみ・設備設計のみも含む）  
リフォームも、設計や工事監理をしていれば記載します。
  - ★その他業務として
    - ①建築工事契約に関する事務 ②建築工事の指導監督 ③建築物に関する調査又は鑑定（耐震、腐食度合い等の診断等） ④建築に関する手続きの代理(代願)
  - ★「建築物に係るコンサルティング」のみを行っている場合には、「コンサルティング」を業務実績として記載していただくことが望めます。
- ※建築士事務所PRの場であるという認識に立ち「私の事務所は、このような業務に実績があります」という視点での記載が望めます。

事務所の登録番号は正確に！！

(第三面)

記入例

## 所属建築士名簿

【記入必須】 埼玉県知事登録 ( 2 ) 第 1234 号

[記入例]

建築士免許証の登録番号

氏名	登録種別	登録番号	登録地	講習日	講習種別	講習番号	講習日
埼玉 太郎	一級建築士 管理建築士	39625	(埼玉県)	R5. 12. 1 又は 2023. 12. 1	構造一級	567890	R5. 11. 25 又は 2023. 11. 25
氏名	一級建築士、 二級建築士又は 木造建築士の別及び管理 建築士である 場合にあつては、その旨	登録番号	登録を受けた都道府県 名(二級建 築士又は木 造建築士の 場合)	建築士法第 22 条の 2 第 1 号 から第 3 号ま でに定める講 習のうち直近 のものを受け た年月日	構造設計一級 建築士又は、 設備設計一級 建築士の場合 にあつては、 その旨	構造設計一 級建築士証 又は設備設 計一級建築 士証の交付 番号	建築士法第 22 条の 2 第 4 号 及び第 5 号に 定める講習の うちそれぞれ 直近のものを受 けた年月日
埼玉太郎	一級建築士 管理建築士	123456		R5.8.16	構造一級	567890	R5.12.10
大宮次郎 R7.8.31 退職	一級建築士	234567		R6.9.17			
川越三郎 R7.9.1 採用	二級建		埼玉県	未			

必ず記載！

年度途中の所属  
建築士の変更は  
氏名欄にその旨  
を記載します。

報告年度に所属した  
全ての建築士を  
記載します。

★一級・二級・木造の定期講習(法定講習)は、  
それぞれ直近の受講日を記載します。  
(所属建築士は、三年毎に受講しなければ  
なりません。)

★未受講の場合は、「未」と記入します。

※管理建築士講習(法定講習)とは異なります。

構造・設備設計一級  
建築士の場合、各欄  
に記載します。

一級建築士	..... 2 名
二級建築士	..... 1 名
木造建築士	..... 名
計	
構造設計一級建築士	..... 1 名
設備設計一級建築士	..... 名

(注意事項)

\*建築士法第 22 条の 2 第 1 号から第 3 号までに定める講習：所属建築士（一級・二級・木造）に定められる定期講習

\*建築士法第 22 条の 2 第 4 号及び第 5 号に定める講習：構造・設備設計一級建築士に定められる定期講習

# 所属建築士の業務の実績

**【記入必須】** 埼玉県知事登録 ( 2 ) 第 1234 号 事務所の登録番号は正確に！！

[記入注意]

所属建築士の当該事業年度における業務の実績を、所属建築士ごとに当該建築士事務所におけるものに限って、直近のものから順次記入してください。

[記入例]

所属建築士の氏名	建築物所在地都道府県名	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期間
埼玉太郎	埼玉県	共同住宅	鉄筋コンクリート造 3階建延500㎡	設計及び 工事監理	令和4. 8. 1 ～5. 1. 10 又は 2022. 8. 1 ～2023. 1. 10
埼玉太郎	埼玉県	店舗併用 住宅	木造 3 階建 235 ㎡	設計及び 工事監理	R6.4.15 ～R7.9.14
埼玉太郎	東京都	共同住宅	RC 造 地上 6 階建 地下1階延 8,000 ㎡	設計・監理 総括	R6.10.1 ～R7.7.10
埼玉太郎	埼玉県	病院	鉄骨造 4 階建 延 580 ㎡	増築設計 工事監理	R5.6.21 ～R7.6.30
大宮次郎	東京都	退職者含む 共同住宅	RC 造 地上 6 階建 地下1階延 8,000 ㎡	(構造)設計 工事監理	R6.10.1 ～R7.7.10
大宮次郎	埼玉県	中学校	RC 造 4 階建 延 12,000 ㎡	耐震調査 補強設計	R6.12.20 ～R7.4.30
川越三郎	業務実績 なし				

建築士ごとの案件順で記載します。

業務分担した場合の形態が分かるように記載します。

★(第四面)は、(第二面)に記載した業務を『所属する建築士の誰が』行ったかが分かるように記載する必要があります。

例)一つの建築物について  
意匠設計→A建築士、構造設計→B建築士、設備設計→C建築士が行った場合は、それぞれの建築士の実績として当該建築物について記載し、「業務内容」欄へ「設計及び工事監理(構造)」等と、それぞれの建築士が受け持った分野を( )書きで表記します。

※つまり同じ建築物でも、それぞれが担当した業務について、所属建築士が行った業務を一行ずつ記載します。

※当該事業年度中に報告すべき業務実績が皆無の場合は、所属建築士の氏名を記載し、「建築物所在地都道府県名」欄に『業務実績なし』と記載します。

記入例

## 管理建築士による意見の概要

**【記入必須】** 埼玉県知事登録（ 2 ） 第 1234 号

事務所の登録番号は正確に！！

[記入注意]

当該事業年度における直近のものから順次記入してください。

管理建築士の 氏名	建築士事務所の開設者に対して述べられた意見の概要	当該意見が述べられた日
埼玉 太郎	該当なし	
<p>報告すべき意見が無くても、 「管理建築士の氏名」と「該当なし」を必ず記載します。</p>		

## ☆ 提出について ☆

### \*\*\* メールによる提出 \*\*\*

- ・メールの件名、添付文書名を下記の通り入力してください。

『 R6 年次業務報告 一級 (2)1234号 株彩玉建設一級建築士事務所 』

事業年度の開始月の属する年号  
※報告事業年度です。

一級・二級・木造

事務所登録番号

事務所名称

第六号の二書式(第二十条の三関係)(第一面)～(第五面)を年次業務報告書専用のアドレス  
**gyoumuhoukoku@saijikyoo.or.jp**へ送信して下さい。

- ・複合機・コピーメーカー等独自で提供する文書保護ソフト(例 xdwファイル、xdmファイル等)については国交省のデータベースが対応しておりませんので、**エクセル、ワード**または**PDF**形式でご提出下さい。
- ・提出月の最終日(特に3月31日・6月30日・12月31日)またその前後はメールが集中し受信ができなくなる可能性がございます。出来るだけ提出期限日、またはその前後での提出はなるべく避け、お早めのご提出にご協力いただきますようお願い申し上げます。
- ・メールでご提出いただいた場合には必ず受付完了の返信をしております。メールを送信されてから1週間(\*)を過ぎても返信がない場合にはお手数ですが、お問い合わせくださるようお願いいたします。  
(\* ただし、3/15～5/15・1/1～1/15等の決算月終了が集中する混雑時や連休時については2週間程度返信にお時間をいただく場合がございます。何卒ご理解ください)
- ・不備があった場合もメールにてご連絡しておりますので必ずご確認ください。

### \*\*\* 窓口・郵送による提出 \*\*\*

- ・提出された書類をスキャンニングしますので、A4サイズの用紙に片面印刷しクリップでとめ、折らずに提出して下さい。
- ・提出する部数は1部です。
- ・控えに受付印が必要な方は2部提出して下さい。郵送で提出する場合は返送用封筒(宛先記入、切手を貼ったもの)を同封して下さい。
- ・提出先 〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7 埼玉建産連会館5階  
(一社)埼玉県建築士事務所協会 宛

### \*\*\* オンラインによる提出 \*\*\*

- ・建築士事務所登録受付システム: <https://www.icba-kenjitouroku.jp/>により提出して下さい。  
オンライン申請システムのご利用には、利用者登録(無料)が必要です。オンラインシステムの申請手引きは協会ホームページからダウンロードし必ずお読みください。
- ・PDF形式にてアップロードして下さい。
- ・確認メールが自動送信されますのでご確認ください。
- ・不備があった場合はシステム内の補正依頼・質疑応答にてご連絡いたしますのでご確認ください。